

令和3年度

主要な施策に関する説明書

(一 般 会 計)

(国民健康保険特別会計)

(介護保険特別会計)

(後期高齢者医療特別会計)

埼玉県南埼玉郡宮代町

地方自治法第233条第5項の規定により令和3年度に宮代町が執行した主要な施策についてご報告いたします。

令和3年度の一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計の歳出決算額は、総額で約188億699万円、前年度に比べ約13%、金額にして約27億193万円の大幅な減となっています。

その主な要因は、令和2年度に実施した特別定額給付金給付の完了に伴うものですが、新型コロナウイルスワクチン接種事業を始めとした新型コロナウイルス感染症対策事業関連経費、介護、医療、福祉といったいわゆる社会保障関連経費は、引き続き増加傾向にあります。

一方、少子高齢化による人口減少社会にあっても、これまでの定住人口の増加に向けた区画整理事業等の都市基盤整備の成果により、一定の水準で町税収入を確保することができ、町の魅力を向上させ交流人口・定住人口の増加に向け都市基盤整備など将来につながる投資を進めると共に、持続可能な財政運営の実現に向け各種施策を推し進めました。

他方、国では、「日本の未来を拓く4つの原動力～グリーン、デジタル、活力ある地方創り、少子化対策～」の推進を目標に掲げる「経済財政運営と改革の基本方針2021」を定め、「感染症に対し強靱で安心できる経済社会の構築」「経済の好循環の加速・拡大」の実現に向けた新たな施策を展開すると共に、地方創生の更なる深化を推進するため、地方版総合戦略に基づき地方公共団体が自主的・主体的に行う先導的な取組に対し支援を行っています。

こうした状況の中、令和3年度は、「第5次宮代町総合計画前期実行計画」及び「第2期宮代町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の初年度として新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した上で、事業進捗に努めました。

令和4年度も引き続き皆様の声を聴き、皆様の声を活かし、将来に渡ってこのまちに住み続けたいと思える魅力あるまちづくりを進めてまいりますので、皆様のより一層のご協力をお願い申し上げます。

令和4年 8月25日

宮代町長 新井康之

令和3年度 宮代町一般会計決算における主要施策の成果

令和3年度は、新型コロナウイルスワクチン接種事業を始めとした新型コロナウイルス感染症対策関連事業のほか、高齢化を背景とする社会保障関連経費が引き続き増加する状況下での財政運営となりました。

歳入では、町税は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による個人町民税、税率改定による法人町民税の減及び評価替えによる既存家屋の減価等による固定資産税、都市計画税の減を背景に町税全体では前年度に比べ減額となりました。一方、各種交付金は、地方消費税交付金が交付原資（県税）の増に伴い増額となるなど、全体でも増額、地方交付税は、国勢調査人口の増加及び高齢者人口の増加等による基準財政需要額の拡大に伴い増額し、一般財源総額も前年度に比べ増額しました。

歳出では、義務的経費は、新型コロナウイルスワクチン接種実施に伴い人件費等が増額となったほか、高齢化を背景とした社会保障関連経費が引き続き増加しました。投資的経費は、引き続き都市計画道路整備事業や東武動物公園駅東口周辺整備事業等の都市基盤整備、国庫補助を活用した東小学校教室新設工事等を実施してまいりましたが、旧ふれ愛センターを新たな福祉交流拠点とするためのリニューアル工事の完了等により減額となりました。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、新型コロナウイルスワクチン接種の実施、子育て世帯等臨時特別支援事業給付金、住民税非課税世帯等臨時特別給付金や事業者・お店支援金の支給等の事業を実施しました。その結果、歳出総額は115億6,234万円、前年度に比べ30億382万円の減額となりました。

このような中、令和3年度は第5次宮代町総合計画前期実行計画の初年度として、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した上で、事業進捗に努めました。

「構想1 宮代らしさを価値として高めていく」では、西原自然の森フェスタ2021を開催し西原自然の森の魅力向上を図りました。また、アーティスト等とのマッチングモデル事業としての作品展や演奏会の実施、町の魅力の情報発信力向上のための「みんなが地域の特派員制度」を創設しました。

「構想2 コンパクトな町の強みを活かす」では、75歳以上の高齢者等にタクシー助成券を交付する「高齢者等タクシー助成事業」を開始しました。また、都市基盤整備として、引き続き道仏地区の周辺道路である都市計画道路 春日部久喜線整備及び東武動物公園駅東口駅前広場整備等を実施しました。

「構想3 さまざまな活動や主体を生み出す」では、地域の高齢者サロンや子育て支援事業者と連携した子どもの居場所づくりイベントを開催しました。また、宮代町教育支援センターの設置準備をするとともに、包括的な支援体制を構築しました。

「構想4 社会環境の変化に対応し行政運営を変化させ続ける」では、将来予測される児童生徒数の変化に応じた学校施設の規模と適正配置について、審議会の答申を受け方向性を検討しました。また、公共施設マネジメント会議や市民参加のワークショップを開催し「第2期公共施設マネジメント計画」を策定しました。

令和4年度も、引き続き、「第5次宮代町総合計画前期実行計画」及び「第2期宮代町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げられた事業を着実に進めてまいります。

令和3年度 一般会計歳入歳出決算状況

歳入の状況

款 名	3年度			増減 A-B
	決算額 A	構成比(%)	人口1人当たり	
1 町 税	3,778,862	29.6	112	△ 81,153
2 地 方 譲 与 税	92,083	0.7	3	1,185
3 利 子 割 交 付 金	2,711	0.0	0	△ 583
4 配 当 割 交 付 金	26,602	0.2	1	9,192
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	31,575	0.2	1	10,763
6 法 人 事 業 税 交 付 金	23,293	0.2	1	13,427
7 地 方 消 費 税 交 付 金	689,346	5.4	20	61,052
8 環 境 性 能 割 交 付 金	12,055	0.1	0	△ 534
9 地 方 特 例 交 付 金	48,591	0.4	1	812
10 地 方 交 付 税	2,709,556	21.2	81	490,397
11 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	4,171	0.0	0	△ 460
12 分 担 金 及 び 負 担 金	64,365	0.5	2	△ 4,602
13 使 用 料 及 び 手 数 料	35,738	0.3	1	3,375
14 国 庫 支 出 金	2,756,029	21.6	82	△ 2,430,134
15 県 支 出 金	747,358	5.9	22	△ 51,215
16 財 産 収 入	29,671	0.2	1	10,099
17 寄 附 金	26,899	0.2	1	△ 81,644
18 繰 入 金	299,030	2.4	9	△ 265,842
19 繰 越 金	610,431	4.8	18	60,854
20 諸 収 入	233,758	1.8	7	15,396
21 町 債	543,900	4.3	16	△ 170,957
22 自 動 車 取 得 税 交 付 金	5	0.0	0	5
歳 入 合 計	12,766,029	100.0	379	△ 2,410,567

令和4年3月31日現在人口
33,656人

(単位 千円)

2年度		元年度 決算額	主 な 増 減 理 由
決算額 B	構成比 (%)		
3,860,015	25.5	3,767,817	町民税の減等による減
90,898	0.6	90,322	交付原資（国税）の増
3,294	0.0	3,146	交付原資（県税）の減
17,410	0.1	20,482	交付原資（県税）の増
20,812	0.1	12,349	交付原資（県税）の増
9,866	0.1	0	交付割合の拡大に伴う増
628,294	4.1	503,938	交付原資（県税）の増
12,589	0.1	6,106	交付原資（県税）の減
47,779	0.3	86,635	地方税減収補填特別交付金の交付に伴う増
2,219,159	14.7	2,120,407	65歳以上人口の増による高齢者福祉費の増額及び国勢調査人口の増による算定経費の増等に伴う普通交付税の増
4,631	0.0	4,151	交付原資の減
68,967	0.5	114,763	保育所保護者負担金の減
32,363	0.2	71,129	駐輪場使用料の増 開発許可等申請の権限移譲による都市計画手数料の増
5,186,163	34.2	1,173,398	特別定額給付金給付事業補助金の皆減による減
798,573	5.3	702,788	社会保障関連経費の増に伴う県負担金の増 埼玉県ふるさと創造資金の減
19,572	0.1	17,952	普通財産売払収入の増
108,543	0.7	65,854	宮代町らしいまちづくりのための寄付金（ふるさと納税）の減
564,872	3.7	594,324	財政調整基金繰入金の減
549,577	3.6	587,858	前年度決算剰余金の増
218,362	1.4	239,822	埋蔵文化財発掘事業受託事業収入の増による増
714,857	4.7	573,711	西原自然の森整備事業及び消防団第3分団詰所改修工事の完了に伴う減
0	0.0	20,174	令和元年度に廃止された自動車取得税交付金の過年度分追加交付
15,176,596	100.0	10,777,126	

歳出の状況

款名	3年度			増減 A-B
	決算額 A	構成比 (%)	人口1人当たり	
1 議会費	102,779	0.9	3	788
2 総務費	1,460,392	12.6	43	△ 3,629,024
3 民生費	4,770,145	41.3	142	617,204
4 衛生費	1,282,016	11.1	38	386,352
5 労働費	836	0.0	0	△ 125
6 農林水産業費	210,893	1.8	6	△ 30,155
7 商工費	120,856	1.0	4	△ 113,719
8 土木費	1,057,830	9.2	31	△ 85,580
9 消防費	488,935	4.2	16	△ 73,748
10 教育費	1,223,425	10.6	36	△ 102,353
11 公債費	844,030	7.3	25	26,374
12 諸支出金	205	0.0	0	163
13 予備費	0	0.0	0	0
歳出合計	11,562,342	100.0	344	△ 3,003,823

令和4年3月31日現在人口
33,656人

(単位 千円)

2年度		元年度 決算額	主 な 増 減 理 由
決算額 B	構成比 (%)		
101,991	0.7	100,022	議場用映像音響設備機器使用料の増
5,089,416	34.9	1,634,967	特別定額給付金の給付完了による減
4,152,941	28.5	3,905,141	子育て世帯等臨時特別支援事業給付金の給付に伴う増 住民税非課税世帯等臨時特別給付金の給付に伴う増
895,664	6.1	805,267	新型コロナウイルスワクチン接種事業の開始に伴う増
961	0.0	1,105	勤労者住宅資金貸付制度預託金の減
241,048	1.7	263,708	農業施設修繕の減及び新しい村育苗施設トイレ改修工事等 完了に伴う減
234,575	1.6	106,264	新型コロナウイルス感染症緊急経済対策プレミアム付商品 券発行事業の完了による減
1,143,410	7.9	966,393	下水道事業会計に対する補助金の減
562,683	3.9	590,955	消防団（第3分団）詰所建替工事の完了に伴う減
1,325,778	9.1	1,050,819	小中学校児童生徒1人1台情報端末整備完了に伴う減 小中学校情報通信ネットワーク整備工事の完了に伴う減
817,656	5.6	802,870	過年度分臨時財政対策債の元金償還開始に伴う増
42	0.0	38	
0	0.0	0	
14,566,165	100.0	10,227,549	

令和3年度 一般会計歳出性質別決算状況

性 質 名	3年度		増減 A-B
	決算額 A	構成比 (%)	
1 人 件 費	1,876,874	16.2	63,257
う ち 職 員 給	1,170,474	10.1	41,327
2 物 件 費	1,733,946	15.0	42,188
3 維 持 補 修 費	44,348	0.4	△ 18,738
4 扶 助 費	2,802,308	24.3	680,682
5 補 助 費 等	1,932,774	16.7	△ 3,493,647
一部事務組合に対するもの	993,412	8.6	21,159
そ の 他	939,362	8.1	△ 3,514,806
6 普 通 建 設 事 業 費	773,687	6.7	△ 215,223
補 助 事 業 費	348,455	3.0	148,805
単 独 事 業 費	396,207	3.4	△ 337,724
県 営 事 業 負 担 金	29,025	0.3	△ 26,304
同 級 他 団 体 施 行 事 業 費	0	0.0	0
受 託 事 業 費	0	0.0	0
7 公 債 費	844,031	7.3	26,375
8 積 立 金	291,642	2.5	△ 75,702
9 投 資 及 び 出 資 金	0	0.0	△ 30,000
10 貸 付 金	125	0.0	△ 125
11 繰 出 金	1,262,607	10.9	17,110
合 計	11,562,342	100.0	△ 3,003,823

(単位 千円)

2年度		元年度 決算額	主 な 増 減 理 由
決算額 B	構成比 (%)		
1,813,617	12.5	1,698,356	新型コロナウイルスワクチン接種に係る人件費の増
1,129,147	7.8	1,140,470	フルタイム会計年度任用職員数の増加等による職員給料の増 超過勤務手当の増
1,691,758	11.6	1,562,382	新型コロナウイルスワクチン接種に係る委託料の増
63,086	0.4	60,475	道仏土地地区画整理事務所撤去完了に伴う減
2,121,626	14.6	1,925,857	子育て世帯等臨時特別支援事業給付金の給付に伴う増 住民税非課税世帯等臨時特別給付金の給付に伴う増
5,426,421	37.3	1,307,243	
972,253	6.7	944,245	久喜宮代衛生組合負担金の増
4,454,168	30.6	362,998	特別定額給付金の給付完了に伴う減
988,910	6.8	742,300	
199,650	1.4	367,285	東小学校教室新設工事の実施に伴う増
733,931	5.0	368,175	福祉作業所等施設整備の完了に伴う減 消防団（第3分団）詰所改修工事の完了に伴う減
55,329	0.4	6,840	東武動物公園駅東口周辺整備事業にかかる街路事業負担金の減
0	0.0	0	
0	0.0	0	
817,656	5.6	802,869	過年度分臨時財政対策債の元金償還開始等に伴う増
367,344	2.5	341,401	宮代まちづくり基金積立金の減
30,000	0.2	0	下水道事業会計に対する出資金の減
250	0.0	400	勤労者住宅資金貸付制度預託金の減
1,245,497	8.5	1,786,266	国民健康保険特別会計繰出金の増
14,566,165	100.0	10,227,549	

地 方 債 現 在

区 分	令和2年度末 現在高 A	令和3年度 発行額 B
1 普 通 債	2,808,046	159,600
(1) 総 務 債	398,273	
(2) 民 生 債	666,742	12,100
(3) 衛 生 債	381,701	
(4) 土 木 債	998,660	85,500
(5) 消 防 債	94,634	
(6) 教 育 債	268,036	62,000
2 そ の 他	5,737,073	384,300
(1) 減 税 補 て ん 債	59,354	
(2) 減 収 補 て ん 債	30,700	6,000
(3) 臨 時 財 政 対 策 債	5,647,019	378,300
合 計	8,545,119	543,900

地 方 債 の 借 入 先 別 ・

借入先 / 利率別	令和2年度末 現在高 A	令和3年度 発行額 B	令和3年度 元金償還額 C	令和3年度末 現在高 D(A+B-C)
1 財 務 省	4,037,603	259,201	395,170	3,901,634
2 郵便貯金・簡易生命 保険管理機構	243,973		25,658	218,315
3 地方公共団体金融機構	3,058,462	232,099	223,267	3,067,294
4 市中銀行等	930,223	52,600	136,542	846,281
5 共済組合等	25,358		5,115	20,243
6 埼 玉 県	249,500		14,163	235,337
合 計	8,545,119	543,900	799,915	8,289,104

高 の 状 況

(単位 千円)

令和3年度 元金償還額 C	令和3年度末現在高 D (A+B-C)	Dの借入先別内訳	
		政府資金	その他
281,466	2,686,180	1,185,594	1,500,586
37,133	361,140		361,140
52,559	626,283	290,867	335,416
36,865	344,836	100,674	244,162
108,681	975,479	704,958	270,521
4,901	89,733		89,733
41,327	288,709	89,095	199,614
518,449	5,602,924	2,895,457	2,707,467
18,444	40,910	40,910	
3,067	33,633	27,633	6,000
496,938	5,528,381	2,826,914	2,701,467
799,915	8,289,104	4,081,051	4,208,053

利 率 別 現 在 高 の 状 況

(単位 千円)

令和3年度末現在高 D の利率別内訳								
1.5% 以下	2.0% 以下	2.5% 以下	3.0% 以下	3.5% 以下	4.0% 以下	4.5% 以下	5.0% 以下	5.0% 超
3,721,235	20,742	149,993	3,731	3,142			2,791	
65,656		152,659						
2,561,797	494,266	3,931	3,691	2,588			1,021	
668,545	177,736							
20,243								
235,337								
7,272,813	692,744	306,583	7,422	5,730			3,812	

令和3年度 決算状況総括表

1 決算収支の状況

(単位 千円)

	3年度	2年度	元年度
歳入総額 A	12,766,029	15,176,596	10,777,126
歳出総額 B	11,562,342	14,566,165	10,227,549
歳入歳出差引額 (A - B) C	1,203,687	610,431	549,577
翌年度へ繰越すべき財源 D	183,197	124,744	74,808
実質収支 (C - D) E	1,020,490	485,687	474,769
単年度収支 F	534,803	10,918	△ 22,450
財政調整基金積立金額 G	243,952	237,643	248,831
繰上償還額 H	0	0	0
積立金取崩額 I	28,175	298,237	260,594
実質単年度収支 (F + G + H - I)	750,580	△ 49,676	△ 34,213

2 基金の現在高

(単位 千円)

	3年度	2年度	元年度
財政調整基金	1,300,034	1,084,257	1,144,851
(主な増減理由) 決算剰余金の積み立てによる増			
減債基金	3,519	3,515	3,514
(主な増減理由) 基金利子の積み立てによる増			
公共施設整備基金	621,468	607,687	559,255
(主な増減理由) 普通財産売払い収入の積み立てによる増			
公設宮代福祉医療センター施設整備基金	2,742	4,261	3,606
(主な増減理由) 医療機器リース料の財源としての取り崩しによる減			
宮代まちづくり基金	28,219	59,158	86,381
(主な増減理由) ふるさと納税の減額による減			
土地開発基金	328,983	328,778	328,736
(主な増減理由) 基金利子の積み立てによる増			
育英基金	16,908	18,305	19,628
(主な増減理由) 小中学校教材教具購入費の財源としての取り崩しによる減			
森林環境譲与税積立基金	8,291	4,914	1,572
(主な増減理由) 森林環境譲与税の積み立てによる増			
合 計	2,310,164	2,110,875	2,147,543

3 財政指標

	3年度	2年度	元年度
実質公債費比率	6.0%	6.3%	6.5%
将来負担比率	-	6.5%	4.1%
財政力指数	0.613	0.633	0.635
経常収支比率	88.0%	91.9%	94.0%
実質収支比率	13.7%	7.0%	7.1%
標準財政規模	7,473,220千円	6,944,050千円	6,710,416千円

※令和3年度の将来負担比率は指数なしのため「-」と表記しています。

※財政力指数、実質公債費比率の数値は、過去3カ年の平均値です。

(財政力指数の各年度数値は16ページを参照ください)

4 人口

(単位 人)

	3年度	2年度	元年度
住民基本台帳	33,656	33,792	33,969

5 国勢調査

(単位 人)

	2年国勢調査	27年国勢調査	22年国勢調査
人口	34,147	33,705	33,641
第1次就業人口	298	315	353
第2次就業人口	3,331	3,551	3,499
第3次就業人口	11,545	10,861	11,221
(分類不能)	595	854	606

6 職員数等の状況

	3年度	2年度	元年度
(一般職員)職員数	188人	186人	180人
平均年齢	43.09歳	44.02歳	45.20歳
一人当たりの給料月額	315,403円	317,492円	322,958円
ラスパイレス指数	95.8	94.3	94.1

※ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与額を100とした場合の地方公共団体(市町村など)の給与水準を指数で示したもので、ここでは、4月1日現在の指数を記載しています。

西原自然の森活用事業（移築民家活用編）

【資料館管理運営事業 決算書 P192】

教育推進課
文化財保護担当
TEL 34-8882

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
50,000	0	0	0	0	0	0

◎ 令和3年度の事業実績（成果）

西原自然の森の魅力を高めるため、町指定文化財である「旧加藤家」を活用したイベントとして、他課との共催で「西原自然の森フェスタ 2021」を開催しました。フェスタでは、「竹あかり」の会場や「旧加藤家」の縁側を舞台に、「オカリナの夕べ」として「こぶし10」によるオカリナの演奏会を開きました。また、同じ「竹あかり」の開催時間に合わせて、「ナイトミュージアム」と題し、開館時間の延長を行いました。

<実施内容>

■オカリナの夕べ

実施日：12月4日16:30～

オカリナ愛好のグループである「こぶし10」による演奏鑑賞会で、第1部を「竹あかり」の会場である旧ジャブジャブ池跡地で、第2部を旧加藤家住宅の縁側で行いました。

■ナイトミュージアム

実施日：12月4・5日～18:00まで開館時間延長

西原自然の森フェスタでのイベント終了時間である18時まで、郷土資料館の開館時間を延長しました。

★前期実行計画の趣旨とその工程

福祉拠点として再整備される旧ふれ愛センターとともに西原自然の森の魅力を高めるため、「旧加藤家住宅」「旧齋藤家住宅」「旧進修館」を古い建物の特性を生かした美術作品の展示や音楽活動などの文化活動や体験講座、地域活動ができる場所とします。

[里山体験事業編、新たな福祉の拠点づくり編との連携事業]

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7			
モデル事業の実施	教育推進課	▶							
仕組みづくりと運用準備	教育推進課		▶						
活用支援	教育推進課			▶					

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

新たな仕組みに基づく新規事業 年3回以上

まちなかどこでもミュージアム事業

教育推進課

生涯学習・スポーツ振興担当

内線 433

3 年度予算 (円)	3 年度決算 (円)	3 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
0	0	0	0	0	0	0

◎ 令和 3 年度の事業実績 (成果)

町ホームページ上に散らばる公共施設情報を集約し、活動場所の検索性を向上させるための準備を行いました。

また、文化芸術活動を後押しする体制のひとつとして、活動を応援するための物品等を整備できるよう予算を確保するとともに、アーティスト等とのマッチングモデル事業として、3月に開催された西原自然の森での作品展や演奏会の支援を行いました。

<実施内容>

- ・飲食店やパブリックスペース等で展開されている町内の文化芸術活動の実態や町関連アーティスト・団体の情報を収集し、今後の展開に向け、たたき台となる素案を作成しました。
- ・町ホームページ上に散らばる公共施設情報を集約し、活動場所の検索性を向上させるための情報整理を行いました。
- ・文化芸術活動を後押しする体制のひとつとして、活動を応援するための物品等を準備できるよう次年度予算の確保を行いました。
- ・アーティスト等のマッチングモデル事業として、3月に西原自然の森での作品展や演奏会の開催支援を行いました。

★前期実行計画の趣旨とその工程

既存施設や飲食店など、気軽に美術作品の展示や小さな演奏会ができるスペースを募集し、まちなかにおける作品展や音楽会の開催を促します。このことで地域の人材を発掘し、地域に人々の集まる新しい場所を生み出します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
飲食店などで行う作品展や演奏会の実施方法の検討	教育推進課	▶				
アーティストと飲食店等のマッチング	教育推進課		▶			
(仮称)アートウィークの開催	教育推進課 参加者			▶		
(仮称)アートウィークの実施方法の検証と見直し	教育推進課			▶		

前期実行計画の成果目標(令和 7 年度)

飲食店等やアーティストが主体となった(仮称)アートウィークの開催 年 1 回以上

地域のみんで子どもたちの居場所づくり事業②

【教育支援センター設置事業 決算書 P168】

学校教育担当
教育総務担当
内線 423

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
20,442,000	20,386,725	0	0	0	0	20,386,725

◎ 令和3年度の事業実績(成果)

様々な事情で学校に通いづらい又は通いにくい町内の児童生徒の居場所の一つとして、実態やニーズ等に合った施設にするために、既に教育支援センターが設置されている他市町への視察等も行いながら、「人材」「施設・備品」「体制」の3つを柱として整備を行いました。

<実施内容>

■人材の確保

- ・会計年度任用職員の募集及び採用
教育支援センター長…1名、教育相談員…1名、教育支援員Ⅰ種…2名、教育支援員Ⅱ種…1名
- ・月2回の臨床心理士の配置確定

■施設・備品の整備

- ・外壁の改修、内装のリフォーム、照明のLED化の実施
- ・空間デザインを含む備品等の整備に係るプロポーザルの実施

■体制の構築

- ・町内の実態やニーズ等の把握のための児童生徒(小5～中3)、保護者(小1～中3)、教員へのWebアンケートの実施
- ・運営内容等に係る検討会議(3回)、他市町への視察、市民団体との意見交換会の実施
- ・「宮代町教育支援センター設置及び管理条例」の制定(12月 町議会)
- ・「宮代町教育支援センター設置及び管理に関する規則」の制定(2月 定例教育委員会)

★ 前期実行計画の目標とその工程

子どもが孤立しないための居場所づくりを行う人や活動を応援し、地域の人々が主体となった取り組みを広げます。また、学校に通えない児童生徒のために学外の場を整備し、心の居場所や学びの機会を提供します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
地域・学校の実態把握及び教育支援センター(適応指導教室)の在り方の検討	教育推進課	■				
子育て支援課及び福祉課との連携体制の構築(調査研究・ネットワーク構築)	子育て支援課 教育推進課 福祉課	■				
必要な施設改修・設備・備品等の整備及び人材の確保	教育推進課	■				
包括的な支援体制の構築及び拡充の検討	教育推進課	■				
教育支援センター(適応指導教室)設置条例の制定	教育推進課	■				
教育支援センター(適応指導教室)の開設及び運用	教育推進課		■			

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

常設の教育支援センター(適応指導教室)の設置

人権・平和推進事業

【人権・平和推進事業、男女共同参画社会推進事業、人権教育推進事業、教職員研修奨励事業、小学校管理運営事業、中学校管理運営事業】

人権推進室 内線 210
学校教育担当 内線 423
生涯学習室 内線 431

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4,166,857	2,907,989	36,000	84,000	0	30	2,787,959

◎ 令和3年度の事業実績(成果)

人権啓発活動の実施により差別や偏見による認識の誤りを解消するとともに、町民一人ひとりの人権意識を高めることができました。また、平和事業としてヒロシマ・ナガサキ原爆写真展を開催し平和の重要性を伝えました。

男女がお互いの人権を尊重し、個性と能力を十分発揮でき、責任を分かち合う男女共同参画を実現するため、市民参加を軸に普及・啓発活動を行い意識の高揚を図ることができました。

また、男女共同参画に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための第3次男女共同参画プランを策定しました。

<実施内容>

■人権啓発・教育研修会の実施

正しい人権感覚を養うために、地域住民や教職員を対象とした人権教育研修会を実施しました。また、各小中学校においても、人権教育に取り組みました。

<主な取り組み>

①教職員人権教育研修会 8月6日 宮代町立図書館ホール

②人権作文発表会と人権教育研修会 12月3日 東小学校

③人権問題合同研修会 1月27日 宮代町立図書館ホール

講演テーマ：人権の現状と課題 同和問題の解決をめざして

講師：布施昌美氏（埼玉県東部教育事務所 社会教育主事兼指導主事）

■人権出前講座の実施

人権教育の普及・啓発を目的とし、差別のない明るいまちづくりについて学ぶ「みんなで語ろう身近な人権」を出前講座「まちしるべ」のメニューとしました。

■男女共同参画セミナーの実施（YouTubeによるオンライン動画配信）

テーマ：創作落語「職場における男女共同参画」

講師：千金亭値千金氏（創作落語口演家）

実施日：令和4年1月31日（月）～3月31日（木）

申込者数：27人

視聴数：96回

■男女共同参画情報誌「ふらふーぷ」の発行

男女共同参画社会の実現のため、男女共同参画社会推進会議のメンバーが様々な視点からテーマを決め、編集発行しました。

また、広報みやしろ12月号の特別付録として広報紙に折り込み各世帯へ配布しました。



■第3次男女共同参画プランの策定

平成27年に策定した「第2次男女共同参画プラン」による取組を踏まえ、これまでの施策の成果を継承しつつ、プランの進捗状況や住民意識調査の結果、男女共同参画プラン策定委員会での意見等を反映するとともに、新たな課題を解決するための施策や関連する法律、社会状況等に沿った施策を総合的かつ計画的に推進するため「第3次男女共同参画プラン」を策定しました。



■性的少数者（LGBT等）に対する取り組み

①パートナーシップ・ファミリーシップの届出に関する要綱の制定

一人ひとりが互いに人権を尊重し、真に豊かで安心して暮らせる社会の実現のため、性自認や性的指向に係る性的少数者の自由な意思を尊重するパートナーシップ・ファミリーシップの届出に関し、必要な事項を定めました。

②職員対象人権・男女共同参画研修の実施

テーマ：性の多様性／LGBTについて

講師：小泉涼氏（ダイバーシティ信州会長）

実施日：令和3年10月22日（金）14時～16時

参加者：15人

③性の多様性に関する啓発

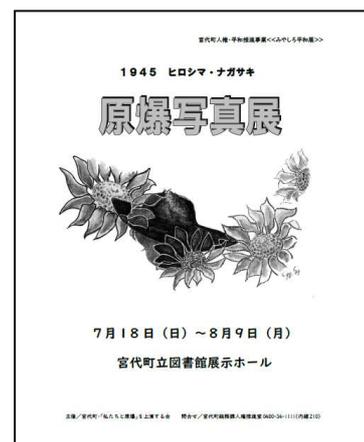
性の多様性についての理解促進のためのマークをいれた啓発品の配布や、広報3月号において特集記事を掲載するなど啓発に努めました。

■平和啓発事業の実施

平和の大切さの啓発及び平和教育の一環として行ってきた「朗読劇『私たちと原爆』」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。そのため、「ヒロシマ・ナガサキ 原爆写真展」を開催しました。

開催期間：令和3年7月18日（日）～8月9日（月）

場所：宮代町立図書館展示ホール



★ 前期実行計画の目標とその工程

互いに人権を尊重しあい、真に豊かな安心して暮らしていける社会を実現するため、人権や平和に関する啓発活動を実施します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
人権尊重意識の啓発事業	総務課 教育推進課	▶				
学校における人権教育	総務課 教育推進課	▶				
生涯学習における人権教育	総務課 教育推進課	▶				
男女共同参画プランの推進	総務課	▶				
性的少数者(LGBT)への理解促進と支援	総務課	▶				
平和への意識を高めるための啓発活動の推進	総務課	▶				

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

人権平和に関する啓発事業に参加した市民の意識・関心が向上した割合
70%

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
0	0	0	0	0	0	0

◎ 令和3年度の事業実績 (成果)

小・中学校の理科担当者との打ち合わせを進め、連携についての準備を進めました。令和4年度は須賀中学校で試験的に実施すること、夏季休業中に小学校の教員向け研修を実施することが決定しました。

<実施内容>

■日本工業大学に関する情報収集

令和3年7月に、日本工業大学の教員3名と打ち合わせを行い、連携内容や今後の予定の確認、大学の設備や教員についての情報収集を実施しました。

■日本工業大学、学校、教育委員会との情報交換会の実施

実施に向け、令和3年11月に日本工業大学、12月に須賀中学校、令和4年1月に百間中学校との情報交換会を実施しました。

★ 前期実行計画の日程とその工程

小中学校の理科の授業において、大学の施設や設備を使った専門家による科学体験を通して、子どもたちが興味をもって、自ら学ぶプロジェクトを始動します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7	
日本工業大学の設備、先生に関する情報収集	教育推進課	■					
学校の教育課程の確認	教育推進課	■					
必要な支援方法の検討	教育推進課		■				
日本工業大学、学校、教育委員会との情報交換会の実施	教育推進課		■				
日工大サイエンスプロジェクトの実施	教育推進課			■			

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

理科が好きという児童生徒 80%以上 (アンケート調査)

宮代町立小中学校適正配置事業

【小中学校適正配置事業 決算書 P164】

教育推進課
教育総務担当
内線 425

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
473,000	72,767	0	0	0	0	72,767

◎ 令和3年度の事業実績(成果)

前年度に引き続き、宮代町立小中学校の適正配置及び通学区域の編成に関する審議会による検証作業を進め、令和3年5月31日付けで審議会から答申を受けました。その後、答申の内容を関係団体や住民の皆様にお知らせするとともに、答申の内容を踏まえ、庁内の関係課と意見交換を行いました。また、小中学校の再編についての基本的な取組方針の案を作成し、10月に庁内会議に諮り、2月に議会に対して報告を行いました。

<実施内容>

- 宮代町立小中学校の適正配置及び通学区域の編成に関する審議会の開催
 - ・第10回会議(5月25日)
- 宮代町立小中学校の適正配置及び通学区域の編成に関する審議会から町への答申(5月31日)
- 小中学校の再編についての基本的な取組方針の案



★前期実行計画の趣旨とその工程

社会の変化に対応した最良な教育環境を子どもたちに提供するために、小中学校の適正な配置を進めていきます。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7	
計画の再検討及び見直し	教育推進課						
計画に基づく取組の実施	教育推進課						

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

審議会の答申を踏まえた小中学校の適正配置計画の再検討及び見直し
見直し後の小中学校の適正配置計画に基づく取組の実施

教 育 推 進 課

■ 本年度の成果

本年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言の影響による小中学校の分散登校、公共施設の臨時休館等、昨年度に引き続く状況下での学校教育活動、生涯学習活動となりました。

そのような状況下にあっても、必要な感染対策を講じ創意工夫を図ることで、次世代を担う子供たちがいきいきと学び健やかに成長するための学校教育の充実、町民の皆さんが健康で活力に満ちた生活を送るための生涯学習施策の推進を図るとともに、教育支援センターの開設に向けた準備や小中学校のトイレの洋式化を進めるなど、教育環境の向上に努めることで心豊かでたくましい児童生徒の育成と町民の創意を生かした学びの場づくりの取組を行い、次のような成果をあげることが出来ました。

1. 教育総務・学校教育

新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を行いながら、例年同様の教育活動が実施できるように努めてまいりました。

町独自に非常勤講師を各学校に配置し、児童生徒一人一人を大事にするきめ細やかな学習指導を行い、児童生徒の学力向上に着実な成果をあげることができました。さらに、「心の教育」についても、郷土資料「島村盛助、どんぐりピアノ、山崎山」を活用し、道徳教育の充実を図りました。

小中学校一貫教育は、18年目を迎え各中学校区で地域性や実態に応じて、小中9年間を見通した計画を作成し、指導の一貫性を持って、特色ある教育活動が展開されました。その成果として、島村盛助氏を顕彰する英語活動発表会では、オンラインによる交流会を通して、島村盛助氏の功績を改めて確認するとともに、小・中学生の英語を学ぶ意欲を育て、国際理解教育の推進、コミュニケーション能力の向上などを行うことができました。

環境教育においても、兄弟姉妹関係また学校内で内容が引き継がれ、家庭において省エネ活動に課題意識をもって取り組むことにより、児童生徒だけでなく家族全体の環境意識の向上を図ることができました。

特別支援教育においては、各校に特別支援学級（知的、自閉・情緒）を、また難聴・言語障害通級指導教室は2教室で、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導の充実を図ることができました。

学校運営においては、学校の自己評価、関係者評価、保護者アンケート等を公開することにより、学校課題を学校だけでなく保護者、地域とも共有し、新たな目標に地域ぐるみで取り組むという地域・家庭・学校が一体となった取り組みを進めました。また、コロナ禍の中、学校評議員会及び須賀中学校と東小学校に新設された学校運営協議会を開催し、地域の中で特色ある学校づくりを目指すことができました。

不登校対策事業では、さわやか相談員やボランティア相談員、教育委員会事務局内に配置されている教育相談員、さらにはスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと協力して対策に取り組み、また、教育支援センターの令和4年4月開設に向けて、施設・備品の整備や人材の確保など準備を進めました。

安全対策では、地域の防犯ボランティアの方々との連携により、児童生徒への交通事故や不審者に対する安全確保に努めました。

小中学校施設については、東小学校の児童数増加に伴い、校舎を増築し、また、各学校においてGIGAスクール構想の実現に向け、ICT機器の整備を行い、学校のICT環境の充実に努めました。老朽化の進む学校施設において、小学校の低学年トイレを大規模改修しました。さらに、児童生徒が安心・安全に学校施設を利用できる教育環境を整備するため、学校施設個別施設計画を策定しました。

学校給食では、新しい生活様式に基づく給食のルールを徹底し、新型コロナウイルスの感染防止に努めるとともに、引き続き、地産地消の推進と児童生徒の郷土理解を深めるため、地元産の食材の活用を推進し、令和3年度には米類約24.4トン、野菜等約14.5トン、合わせて40品目、約39トンを使用しました。

宮代町立小中学校適正配置事業では、昨年度に引き続き宮代町立小中学校の適正配置及び通学区の編成等に関する審議会を開催し、審議会より答申を受け、それを踏まえて、今後の方向性を検討しました。

2. 生涯学習

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、町民文化祭をはじめとする多くの事業が中止となりました。その中でも、昨年度に続き成人式は会場を東武動物公園の屋外施設で開催しました。

また、公民館では、開館日が前年度よりも増えたため、利用者が9,815人の増加となりました。

3. 町立図書館

施設では日本工業大学の建築学部と連携し、南側テラスに学生たちの手作りによる素敵な木製家具（椅子・ベンチ）が並び安らぎの空間デザインを施していただきました。

また、図書等の蔵書数においては、前年度より視聴覚資料、図書共に増加しました。

4. スポーツ振興

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、町民体育祭をはじめとする多くの事業が中止となりました。

体育施設では、新型コロナウイルスの影響が残るものの、総合運動公園、町内グラウンド、各小・中学校の学校開放など、年間の利用者数が大幅に回復しました。また、あそびと運動「トライ」など、一部事業については、感染対策を実施した上で、プログラムなどを見直し、実施することができました。

東京2020オリンピック聖火リレー事業では、埼玉県2日目の7月7日（水）に第6区間にて、杉戸町と合同で聖火リレーを実施し、杉戸町役場から当町の東武動物公園駅東口ロータリーまでの約1.3キロメートルのルートで6人の聖火ランナーが走りました。

5. 文化財保護

郷土資料館では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止になった講座はありましたが、受講人数を減じて開催した「夏休み体験講座 郷土資料館へ行こう」や「歴史講座」など、工夫により開催することのできた講座もありました。また、西原自然の森敷地内の活用促進を図るため、敷地内に案内看板を設置し、外灯7灯のLED化を図りました。

文化財保護においては、まちづくり基金を活用して、字中にある宝生院に文化財案内板を設置しました。また、同じく基金を活用し、百間2丁目にあった「桜花碑」を資料館の敷地内に設置しました。

埋蔵文化財発掘事業では、個人住宅等の建設に伴う試掘調査を実施しました。また、分譲住宅開発に伴う発掘調査を1件実施しました。過去の発掘調査で令和元年度地蔵院遺跡第2次調査、平成29年度道仏遺跡調査、平成29年度・令和元年度姫宮神社遺跡調査、平成26年度地蔵院遺跡調査などで出土した遺物の整理作業や図面等の作成を行い、報告書刊行に向けての準備を進めました。

■ 令和3年度前期実行計画

西原自然の森活用事業（移築民家活用編）	27
まちなかどこでもミュージアム事業	34
地域のみんなでこどもたちの居場所づくり事業②	50
人権・平和推進事業	57
日工大サイエンスプロジェクト	65
宮代町立小中学校適正配置事業	67

■ 本年度の主要事業

交通安全・防犯対策事業	189
不登校対策事業	190
小中一貫教育推進事業	190
町民みんなが先生推進事業	192
英語教育推進事業	192
小学校施設管理事業	193
小学校要準特別支援教育就学援助事業	193
小学校環境教育推進事業	194
中学校施設管理事業	194
中学校要準特別支援教育就学援助事業	195
学校給食運営管理事業	195
社会教育活動事業	196
人権教育推進事業	197
青少年健全育成事業	198
公民館管理運営事業	199
図書館管理運営事業	200
総合運動公園管理事業	201
社会体育施設維持管理事業	203
生涯スポーツ振興事業	204
東京2020オリンピック聖火リレー事業	206
文化財保護事業	206
埋蔵文化財発掘調査事業	207
埋蔵文化財発掘調査受託事業	208
資料館管理運営事業	209

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
307,000	96,140	0	0	0	0	96,140

[主な実施内容]

■新入学児童全員に防犯ブザーの配布

トラック協会から寄贈された防犯ブザーを新入学児童全員に配布しました。

■通学路点検

小学校、中学校の通学路を点検し、通学路の把握とともに、危険箇所を確認し、地域、警察、関係課と連携して改善に向けて努めてきました。

■「こども110番の家」の設置

「こども110番の家」は、現在121軒あります。

児童生徒の登下校時や放課後において、不審者に出会ったり、不慮の危険に巻き込まれそうになったりしたときの駆込み拠点として、また、落雷や大雨、竜巻などの自然災害から一時的に身を守る避難所として、協力していただいております。

■学校安全体制推進「スクールガード」・「スクールガードリーダー」の設置

学校や通学路における事件・事故が大きな問題となっている近年の状況を踏まえ、安全で安心な学校を確立するため、児童生徒が安心して教育を受けられるよう、家庭や地域の関係機関と連携しながら、各学校・地域で、安全パトロール（スクールガード）等を組織（小学校4校179人）しています。また、県からスクールガードリーダーの委嘱を受けた各小学校の代表が中心となって、学校間の連携を図りながら学校の巡回・指導、登下校時の見守り活動を行うなど実施体制の維持強化を図りました。

[成 果]

登下校指導及び通学路の点検等の活動もあり、大きな交通事故はありませんでした。また、「こども110番の家」やスクールガード等の御協力により、不審者による重大な事件も発生していません。

スクールガードリーダーを中心に安全パトロールのボランティアの方々が、登下校時において毎日子供たちを見守り、安全を確保していただいているため、下校時における不審者情報も減少しました。また、子供たちの顔を地域の方々に知っていただいたり、コミュニケーションを深めたりするなど、地域の防犯意識も高まってきています。

不登校対策事業

〔学校教育担当〕

決算書 P166

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,076,000	783,920	0	0	0	0	783,920

【主な実施内容】

各中学校に1人の県費助成相談員を配置したほか、町独自の体制としてボランティアの相談員を併せて1人ずつ配置し、児童生徒や保護者からの相談体制を継続して実施しました。また、委員会事務局内に教育相談員を引き続き配置し、学校と委員会間の情報共有に努め、児童生徒や保護者へのフォローアップを実施しました。

いじめ防止対策推進法第28条第1項の規定による「重大事態」が発生したことを受け、法及び文部科学省のガイドラインに基づき、「宮代町いじめ問題調査委員会」を設置しました。委員は弁護士2名、臨床心理士1名、大学教授1名の計4名とし、令和3年度中に調査委員会が5回開催されました。

【成 果】

令和3年度の不登校の児童生徒は22人でした。

ただし、学校に全く通えていないのではなく、相談室等へ登校しながら学校生活に徐々に慣れてきた傾向にあります。

また、学校の全教職員と中学校配置相談員（さわやか相談員）、ボランティア相談員、教育相談員が連携して児童生徒へのフォローに努め、登校ができるよう支援を行いました。さらに、県から派遣されたスクールカウンセラー4人の協力を得ながら、専門的な見地からの保護者への支援を行いました。

宮代町の全児童生徒に対する不登校児童生徒の割合は、小学校では0.26%、中学校においては2.67%です。

小中一貫教育推進事業

〔学校教育担当〕

決算書 P168

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
260,000	226,592	0	0	0	0	226,592

【主な実施内容】

■宮代町立小中学校一貫教育推進委員会の運営

第1回目は委員が集まり今年度の各中学校区での取組について話し合いを行いました。それぞれの中学校区での取組を参考にしながら、中学校区ごとに小中一貫の取組が進められるよう実施しました。第2回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため紙上開催となりましたが、1年間の成果や課題を挙げ、令和4年度の教育活動につなげられるよう、まとめを行いました。

各中学校区では、新型コロナウイルス感染症の感染状況により、交流等が難しいこともありますが、工夫をしながら取組を行いました。

須賀小・中学校では、Sプランをもとに「力いっぱい!」「全力」を合言葉にして取り組みま

した。今年度は、「指導をつなぐ」視点、「児童生徒の心をつなぐ」視点、「教職員の意識をつなぐ」視点で実践を重ね、何事にも前向きに一生懸命取り組む児童生徒の育成に取り組むことができました。

東小学校・笠原小学校・百間中学校においては、ゆずり葉プランを継続し、今年度は、「教科における緩やかな連携」「学習内容の関連の明確化」「英語科授業の連携」「挨拶運動での交流」「生活面・学びにおける共通事項の確認及び実践」を重点に取り組みました。それにより、中1ギャップをなくし、学習意欲を向上させながら学びを深めること、小中の交流を通して豊かな心の育成を図ることを目指し指導を進めることができました。

百間小学校・前原中学校では、Mプランを継続し、「気持ちよく挨拶できる児童生徒」「人の話を目を見てしっかり聞ける児童生徒」「学習（家庭学習）に進んで取り組む児童生徒」「研修を通しての教職員の資質向上」を重点に取り組みました。学力の向上と豊かな心の育成を目指し、1年間取り組むことができました。

■小中学校一貫英語教育の推進

全小学校に専属の日本人の外国語活動補助員を週2日配置し、小学校外国語活動・英語科の一層の推進を図りました。また、小学校では、英語の専科教員が担任、外国語活動補助員や英語指導助手（ALT）と連携して指導し、外国語教育の充実に向け取り組みました。

小学校6年生、中学校2年生の全児童生徒を対象として、郷土の偉人「島村盛助を顕彰する英語活動発表会」を各中学校区で開催し、新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインや動画による交流をしました。

■道徳教育の推進

郷土道徳資料として作成した島村盛助、どんぐりピアノ、山崎山の三部作を、全小中学校で年間指導計画に位置づけ道徳の時間において活用しました。各校の取組は、学校便りやホームページ等を通して、家庭や地域に各校の道徳教育として発信しました。

[成 果]

全中学校区において、地域の特性を生かした連携を図り、小中一貫教育を推進しました。コロナ禍ではありましたが、中学校区ごとに小中9年間を見通したプランを作成し、小学生の中学校生活への不安感の解消と、中学校生活に対する期待感の向上を図り、中一ギャップの解消につなげることができました。

英語教育においては、外国語活動補助員及びALTの積極的な活用を図りました。令和2年度からは、小学校で新しい学習指導要領のもと、小学校3・4年生で週1時間の外国語活動、5・6年生で週2時間の外国語科の授業を実施しています。百間中学校区で行われていた外国語教育研究の成果を生かしながら、指導の充実を図ることができました。また、道徳教育においては、郷土資料を使つての授業を計画的に実施し、郷土愛をはぐくみ、道徳の授業に対する児童生徒の興味・関心を高め、心の教育を推進することができました。また、研究授業を通して、道徳教育の授業力向上に結びつけることができました。

町民みんなが先生推進事業

〔学校教育担当〕

決算書 P168

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,073,000	896,970	0	328,000	0	0	568,970

〔主な実施内容〕

「町民みんなが先生」制度により、部活動等で11人の方々が小中学生の指導を行いました。

〔成 果〕

児童・生徒が町民の方々の優れた技術や知識に触れることにより、学習意欲や向上心が培われました。また、町民の方々と児童・生徒との触れ合いの場ともなり、地域に開かれた学校づくりが一層推進されました。

英語教育推進事業

〔学校教育担当〕

決算書 P168

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
16,709,000	15,744,400	0	0	0	2,500,000	13,244,400

〔主な実施内容〕

町内中学校に英語指導助手を各校1人ずつ配置するとともに、小学校には英語指導助手を2校に1人配置しました。

〔成 果〕

小学校においては、外国語活動・英語科学習の中で、英語の音声にたくさんふれながら、児童が英語を身につける指導を行うことができました。また、他国の文化を知る国際理解教育が推進できました。

中学校においては、英語を使って互いの気持ちや考えを伝え合う活動や、具体的な場面や状況に合った表現を用いて、事実や思いを伝える活動を行うことができました。その結果、コミュニケーション能力を高めることができました。また、「島村盛助を顕彰する英語活動発表会」を各中学校区でオンラインで開催し、小・中学校における英語の学習の成果等を発表することができました。

小学校施設管理事業

[教育総務担当]

決算書 P174

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
295,372,000	290,210,117	128,220,100	0	62,000,000	1,049,480	98,940,537

※令和2年度からの繰越分を含みます。

※令和3年度予算のうち、2,034,000円を令和4年度に繰り越しています。

[主な実施内容]

■町内各小学校の施設整備・改修・修繕(主なもの)

内 容	契約期間	金額(円)
令和3年度小学校低学年棟トイレ改修工事(その1)	R3.6.8~R3.10.29	21,439,000
令和3年度小学校低学年棟トイレ改修工事(その2)	R3.6.8~R3.10.29	26,664,000
【R2繰越】宮代町立東小学校校舎増築工事	R3.6.14~R4.2.28	138,105,000
小学校体育館LAN配線工事	R3.6.14~R3.8.31	2,835,800
宮代町学校施設個別施設計画策定業務委託	R3.7.12~R4.2.28	3,922,286
【R2繰越】宮代町立東小学校校舎増築工事監理業務委託	R3.7.26~R4.2.28	4,675,000
小学校便器尿石除去水垢洗浄清掃業務委託	R3.8.3~R3.9.30	659,010
【R2繰越】宮代町立小中学校学習用ICT機器等購入	R3.4.1~R4.3.31	10,574,917

[成 果]

東小学校の児童数増加による普通教室の不足を解消するため、東小学校校舎増築工事を行いました。また、各小学校のトイレ改修工事及び尿石除去洗浄清掃を実施し、教育環境の改善とトイレ洋式化率の向上を図りました。

体育館の通信ネットワークや書画カメラ、プリンターを整備したことにより、GIGAスクール構想の実現に向けた学校のICT環境を大きく向上させました。

また、老朽化の進む学校施設において児童生徒が安心・安全に学校施設を利用できる教育環境を整備するため、学校施設個別施設計画を策定しました。

小学校要準特別支援教育就学援助事業

[学校教育担当]

決算書 P178

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
15,325,000	9,527,022	391,000	0	0	0	9,136,022

[主な実施内容]

経済的理由により就学費用の負担が困難な児童の保護者に対して、就学援助費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

また、学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する児童又は特別支援学級に就学する児童の保護者に対して、就学奨励費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

[成 果]

保護者の経済的負担の軽減により、教育の機会均等と格差是正の促進を図ることができました。

就学援助費支給者は114人（6,802,293円）となりました。また、特別支援教育就学奨励費支給者は26人（747,369円）となりました。

加えて、翌年度新小学1年生・中学1年生となる新入学児童生徒の保護者に対して、入学準備のための学用品費の事前支給をしました。事前支給者は36人（1,977,360円）となりました。

小学校環境教育推進事業

[学校教育担当]

決算書 P-

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
6,000	0	0	0	0	0	0

[主な実施内容]

各校の代表児童生徒による宮代町子ども環境会議をオンラインで実施し、各小・中学校が、話し合った内容を踏まえた環境対策に取り組みました。

[成果]

令和3年12月9日、宮代町役場101・102会議室と各校をオンラインでつなぎ「キッズエコサミット宮代2021」を開催しました。小学校5・6年生全員と中学校の代表生徒が参加し、各校で年間をとおして取り組んだ環境への取組を紹介しました。

また、自分たちで行える環境への取組について話し合う「子ども環境会議」もオンラインで開催しました。電気、水道がなかった江戸時代にタイムスリップしたつもりで、節電、節水に取り組む日である「宮代江戸の日」を、恒例の7月第一土曜日に実施しました。町内全小・中学生が取り組み、「家庭科で勉強した昔からの伝統的な『打ち水』に挑戦した」「薪を割って火をつけ、外でご飯を炊いて食べた」など授業での学びを生かしながら、子供たちが自ら考えた取組が見られ、環境への意識が高まっています。

また、1月は、「宮代冬の江戸の日」として、町内全小・中学生が「お風呂の温度を低めにしたり、車でなく歩いて買い物に行ったりする」「湯たんぽの使用や厚着、しょうがを料理に取り入れて体を温める」などの取組が見られました。

中学校施設管理事業

[教育総務担当]

決算書 P182

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
58,795,000	50,648,392	2,895,000	0	0	1,002,950	46,750,442

※令和2年度からの繰越分を含みます。

[主な実施内容]

■町内各中学校の施設整備・改修・修繕(主なもの)

内 容	契約期間	金額(円)
宮代町学校施設個別施設計画策定業務委託	R3.7.12~R4.2.28	2,941,714

中学校便器尿石除去水垢洗浄清掃業務委託	R3. 8. 3～R3. 9. 30	529, 760
【R2 繰越】宮代町立小中学校学習用 I C T機器等購入	R3. 4. 1～R4. 3. 31	2, 829, 463

[成 果]

老朽化の進む学校施設において児童生徒が安心・安全に学校施設を利用できる教育環境を整備するため、学校施設個別施設計画を策定しました。

また、各中学校のトイレにおいて尿石除去洗浄清掃を実施し、教育環境の改善を図りました。

さらに、書画カメラ、プリンターを整備したことにより、G I G Aスクール構想の実現に向けた学校の I C T環境を大きく向上させました。

中学校要準特別支援教育就学援助事業

[学校教育担当]

決算書 P184

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
11, 986, 000	6, 968, 005	182, 000	131, 000	0	0	6, 655, 005

[主な実施内容]

経済的理由により就学費用の負担が困難な生徒の保護者に対して、就学援助費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

また、学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する生徒又は特別支援学級に就学する生徒の保護者に対して、就学奨励費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

[成 果]

保護者の経済的負担の軽減により、教育の機会均等と格差是正の促進を図ることができました。就学援助費支給者は85人(6,601,703円)となりました。また、特別支援教育就学奨励費支給者は9人(366,302円)となりました。

学校給食運営管理事業

[教育総務担当]

決算書 P198

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
316, 071, 000	315, 356, 326	1, 097, 000	0	0	112, 732, 172	201, 527, 154

[主な実施内容]

安全でおいしい給食を実施するために、献立等について話し合う宮代町学校給食研究委員会を6回(書面開催含む)、給食に使う物資について検討する物資検討会を11回開催しました。また、給食の計画や実施内容など、給食に関して客観的な立場から審議する宮代町学校給食運営審議会を1回書面開催しました。さらに、特定の食材についてアレルギーを持っている児童生徒に対し、その食材を使用しない「除去食」や「代替食」の提供によるアレルギー対策を実施しました。

新型コロナウイルス対策としては、新しい生活様式に基づく給食のルール(同一方向を向いての黙食、配膳の盛り切り等)を運用し、感染拡大防止に努めました。

■学校給食における宮代産農作物の使用状況

年 度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
品 目 数	40品目	33品目	32品目
使 用 量 (米・野菜等)	米 24.4トン 野菜等 14.5トン	米 20.8トン 野菜等 11.3トン	米 20.4トン 野菜等 12.9トン

[成 果]

・食育の推進

児童生徒の健康面や発育に十分配慮するとともに、世界の料理や全国の郷土料理、季節の行事食、我が家の自慢料理などのメニューの工夫により、楽しく食べながら、社会性や豊かな人間性の育成につながるよう取り組みました。

・アレルギー対策

食物アレルギーを持っている児童生徒に対して、除去食・代替食の提供を行いました。

・新型コロナウイルス感染症対策

新しい生活様式に基づく給食ルールの徹底等の感染拡大防止対策に取り組みました。

社会教育活動事業

[生涯学習室]

決算書 P186

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,867,000	910,576	284,013	0	0	0	626,563

[主な実施内容]

■みやしろ大学

60歳以上の方を対象とした「みやしろ大学」では、受講生が運営委員となって講座の企画運営に携わり、シニア世代の生きがいづくりや健康づくりにつながる講座、ウォーキングなどを開催しています。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点からすべての講座が中止になりました。

■町民文化祭

宮代町文化協会との共催により、進修館を会場に舞台発表や作品展示を実施しています。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止になりました。

■成人式(令和4年1月9日(日))

579,622円

町の特色を活かし、レジャーランドのある「東武動物公園」にての成人式を開催しました。企画、運営は新成人で構成される成人式実行委員会により行われ、211人の新成人が参加しました。

[成 果]

令和3年度においても、昨年度から続く新型コロナウイルス感染症の影響により、会場の特性上、十分な三密対策を取ることが困難なみやしろ大学や町民文化祭は中止となりました。

一方で、成人式については、東武レジャー企画（株）の協力により、昨年度から屋外施設である東武動物公園イベントステージHOLA！（オーラ）を会場に、成人式を開催することができました。

人権教育推進事業

[生涯学習室]

決算書 P186

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
922,000	611,178	0	0	0	0	611,178

[主な実施内容]

■子ども人権講座の開催

40,000円

町内の小学校6年生全員を対象に子ども人権講座「目が見えなくなって見えたもの」を開催し、251人が受講し、命の大切さについて学ぶことができました。

■人権文集（あおぞら第27集）の発行

94,861円

各小・中学校の児童生徒が書いた人権作文・標語を作品集にまとめました。また、オンラインを併用して開催した作文発表会には、会場校の5、6年生123人、一般10人が参加しました。

■宮代町人権教育推進協議会への助成

315,163円

人権教育の振興と明るい地域社会づくりのため、宮代町人権教育推進協議会の啓発、研修活動に対して助成を実施しました。

[成 果]

子ども人権講座では、講師から視力を失いながらも「あきらめないこと」「挑戦する気持ちを持ち続けること」を話してもらい、子供たちにとって生きることの視座をたくさん含んだ研修となりました。人権作文や標語の作成では、子供たち一人一人が人権問題について考える機会となりました。

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
583,000	161,330	0	17,000	0	13,200	131,130

[主な実施内容]

■子ども大学みやしろ 30,000円

日本工業大学と連携し、小学校4～6年生を対象に「子ども大学みやしろ」を開校しました。

講義名	期日	場所	参加者数
緊張に負けない方法	10月16日(土)	日本工業大学 3号館	17人
SDGsを学ぼう	11月14日(日)	日本工業大学 5号館	28人
ウイルス感染のしくみを使った通信	11月28日(日)	日本工業大学 5号館	25人
音の不思議を体験しよう	12月12日(日)	日本工業大学 18号館	29人

■新みやしろ郷土かるた大会・彩の国21世紀郷土かるた大会

宮代町と埼玉県それぞれの歴史、文化、風景、自然などを題材として制作された郷土かるたの大会を開催するものです。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から両大会は中止となりました。

■宮代町青少年相談員の活動

令和3年7月に予定していた、栃木県日光市湯西川「安らぎの森キャンプ場」でのサマーキャンプは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止となりました。

■放課後子供教室 25,535円

国の「新・放課後子ども総合プラン」及び町の「宮代町子ども子育て支援事業計画」に基づき、①放課後に安心して過ごせる居場所の確保、②地域住民との交流、③スポーツや文化活動等の体験機会の提供を目的に実施するものです。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点からすべての事業が中止となりました。

■宮代町青少年健全育成推進員の活動 104,000円

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から東武動物公園西口での、青少年非行防止キャンペーンや8月の青少年非行防止夜間パトロールが中止となりました。11、12月の有害図書等取扱店舗の巡視活動を実施しました。

期 日	内 容
11月20日	町内コンビニエンスストア6店舗を巡視
12月9日	町内公共施設などを中心に22箇所を巡視

[成 果]

かるた大会や放課後子供教室などは、昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止となりました。

子ども大学みやしろは、日本工業大学の協力のもと大教室の提供を受け、換気や手指の消毒などの感染対策をしながら実施することができました。学校では学ぶことができない特色ある授業を実施し、子供たちの知的好奇心を刺激する学びや体験、交流の機会を提供することができました。

公民館管理運営事業

[生涯学習室] 決算書 P188

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4,034,000	3,631,529	0	0	0	2,410,170	1,221,359

[主な実施内容]

■公民館の利用状況

令和3年度は、308日開館し、3館で合計38,161人が利用しました。

		3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
百間公民館	利用回数	1,406	374	1,032	1,515
	利用人数	11,807	3,167	8,640	16,639
川端公民館	利用回数	1,867	437	1,430	2,022
	利用人数	12,763	2,619	10,144	18,306
和戸公民館	利用回数	1,892	622	1,270	1,728
	利用人数	13,591	4,029	9,562	15,135
合 計	利用回数	5,165	1,433	3,732	5,265
	利用人数	38,161	9,815	28,346	50,080

※令和2年度は、新型コロナウイルスの感染症の感染拡大防止のため、令和2年4月1日～5月31日まで休館。

[成 果]

文化、芸術、軽スポーツ、健康づくり、自治会など、さまざまな分野のサークル、団体の活動拠点として利用され、町民の生涯学習、地域コミュニティ活動の推進に寄与しました。

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
88,980,000	88,913,700	50,000	0	0	31,320	88,832,380

[主な実施内容]

指定管理者制度を活用し、図書館の管理運営を行いました。

■図書館の利用状況

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
開館日数(日)	290	109	181	288
貸出者数(人)	77,012	27,651	49,361	80,695
うち広域対象	21,398	7,153	14,245	23,320
貸出冊数(冊・点)	271,541	103,884	167,657	282,958
うち広域対象	68,846	25,010	43,836	77,872

※令和2年度は、新型コロナウイルスの感染症の感染拡大防止のため、令和2年4月8日から5月21日まで及び令和3年1月6日から3月21日まで休館。

■図書等の所蔵数の状況

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
図書(冊)	267,798	2,595	265,203	262,247
うち一般書	203,866	1,787	202,079	200,011
うち児童書	63,932	808	63,124	62,236
視聴覚資料(点)	8,042	41	8,001	8,150
合計	275,840	2,636	273,204	270,397

■各種行事等の実施状況

童話と絵本の会や子ども映画会などボランティア団体等の協力による月例(定期)行事のほか、ナクソス・ミュージック・ライブラリーを利用したコンサートなどを開催し、延べ2,930人が参加しました。

【月例行事】

行 事 名	回数	参加者数
童話と絵本の会	全11回	237人
紙芝居と折り紙	全12回	207人
おはなし会	全10回	328人
子ども映画会	全10回	251人
ライブラリーシアター	全12回	242人
ナクソス音楽会	全12回	152人
ブックスタート事業	全12回	238人

【定例季節行事】

行 事 名	開催日・回数	参加者数
夏休み親子で楽しむおはなしと映画	7月17日(土)、24日(土) 8月21日(土)、28日(土)	148人
夏休み子ども平和映画会	8月1日(日)	33人
夏休み科学あそび教室	8月6日(金)	15人
夏休みおはなし工作会	8月9日(月・祝)	11人
夏休み読書感想文教室	8月21日(土)	12人
雑誌リサイクル市	10月2日(土)、3日(日)	130人
図書リサイクル市	10月9日(土)、10日(日)	130人
クリスマスお楽しみ会	12月19日(日)	70人

【特別企画行事】

行 事 名	開催日・回数	参加者数
調べ学習ワークショップ	7月3日(土)、4日(日) 8月7日(土)、8日(日)	65人
日本工業大学特別講演会 「暮らし・ロボット・人工知能」	9月12日(日)	14人
持ち寄りレコード鑑賞会	11月3日(水)	33人
大人のための16ミリ映画会	11月7日(日)	36人

【成 果】

指定管理者の持つ専門性やノウハウの活用と町民ボランティア等の協力による図書館サービスの提供を行いました。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症による影響から、施設の臨時休館や様々な行事が中止となりましたが、令和3年度においては、一部行事が中止となったものの、夏休みの子供向け企画や大学と連携した講演会など多くの行事を再開することができました。

また、日本工業大学の協力を得て、図書館南側のテラスに学生が制作したイスが設置され、テラスの活用に向けた新たな取組が実施されました。さらに、東武鉄道(株)からの依頼のもと、東武動物公園駅西口で開催されたイベントにおいて、杉戸町立図書館との共同により出張紙芝居を行うなど、地域と連携した活動も展開しました。

総合運動公園管理事業

[生涯学習室]

決算書 P196

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
58,679,000	58,669,625	1,136,000	0	0	251,590	57,282,035

【主な実施内容】

指定管理者制度を活用し、総合運動公園の管理運営を行いました。

■総合運動公園の利用状況

令和3年度は319日開園し、197,872人が利用しました。

		3年度A	増減 A-B	2年度B	元年度
テニスコート	利用件数	3,433	707	2,726	3,047
	利用人数	23,605	4,641	18,964	22,192
多目的広場	利用件数	146	10	136	122
	利用人数	8,186	1,530	6,656	7,646
野球場	利用件数	245	89	156	218
	利用人数	16,562	5,582	10,980	13,568
ソフトボール場	利用件数	197	28	169	178
	利用人数	5,504	1,648	3,856	5,573
メインアリーナ	利用件数	1,686	639	1,047	1,507
	利用人数	27,965	10,068	17,897	34,621
サブアリーナ	利用件数	577	△279	856	1,414
	利用人数	28,006	17,808	10,198	20,118
剣道場	利用件数	310	△61	371	658
	利用人数	4,337	△1,651	5,988	13,988
柔道場	利用件数	560	220	340	503
	利用人数	7,145	3,648	3,497	9,095
弓道場	利用件数	995	419	576	1,187
	利用人数	3,513	795	2,718	4,934
会議室	利用件数	468	201	267	377
	利用人数	5,249	1,667	3,582	6,702
研修室	利用件数	367	172	195	308
	利用人数	6,473	3,094	3,379	9,380
トレーニング室	利用件数	9,337	5,063	4,274	15,603
	利用人数	9,337	5,063	4,274	15,603
室内プール	利用件数	27,730	14,636	13,094	33,849
	利用人数	51,990	20,370	31,620	56,046
合計	利用件数	46,051	21,844	24,207	58,971
	利用人数	197,872	74,263	123,609	219,466

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和3年8月2日から9月30日まで、施設の一部利用制限を実施。

■教室等の自主事業実施状況

教室名	3年度A	増減 A-B	2年度B	元年度
水泳	24,563	5,405	19,158	27,946
テニス	3,734	△275	4,009	5,597
体育	1,444	152	1,292	2,015
新体操	1,054	334	720	941

フットサル	1,575	356	1,219	1,458
バスケットボール	924	91	833	1,383
バドミントン	505	179	326	478
健康教室	3,005	1,375	1,630	1,018
ヨガ	1,651	529	1,122	1,679
卓球	1,101	260	841	1,374
ビクトリークリニック	72	72	—	—
60才から始める健康プログラム	0	0	0	504
60才以上の体力測定	0	0	0	17
その他大会・教室	308	61	247	998
合計	39,936	8,539	31,397	45,823

※自主事業は、感染症対策を実施した上で段階的に実施。

■施設の主な工事等

内 容	金額（円）
宮代町総合運動公園受電設備改修工事	1,188,000
総合体育館プール事務所前廊下床張替工事	495,000

■[成 果]

指定管理者の持つ専門性やノウハウを活かした各種スポーツ教室や健康教室など幅広い世代に対する事業を展開し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも19万人以上の方に施設を利用していただきました。

宮代町総合運動公園の指定管理者であるミズノグループが、国内外のトップアスリートを招き、町民の方々に直接指導を受けていただく機会を提供する事業「ミズノヴィクトリークリニック」を開催しました。

社会体育施設維持管理事業

〔生涯学習室〕

決算書 P196

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳（円）				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
3,623,000	3,605,271	0	0	0	229,000	3,030,920

[主な実施内容]

■町内グラウンド・テニスコートの利用状況

令和3年度は359日開所し、43,920人が利用しました。

		3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
前原グラウンド	利用件数	376	67	309	329
	利用人数	7,112	53	7,059	7,588

東 条 原 グ ラ ウ ン ド	利用件数	310	△41	351	320
	利用人数	4,493	135	4,358	5,513
東 グ ラ ウ ン ド	利用件数	229	△265	494	288
	利用人数	2,969	△2,135	5,104	5,181
宮 東 グ ラ ウ ン ド	利用件数	408	△98	506	691
	利用人数	11,644	1,568	10,076	12,197
宮 東 テ ニ ス コ ー ト	利用件数	1,759	474	1,285	1,592
	利用人数	15,111	2,756	12,355	13,764
山 崎 ア ー チェ リ ー 場	利用件数	2,591	70	2,521	2,411
	利用人数	2,591	70	2,521	2,411
合 計	利用件数	5,673	207	5,466	5,631
	利用人数	43,920	2,447	41,473	46,654

[成 果]

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響がありましたが、町民の身近なスポーツ・レクリエーション施設として、個人・スポーツ団体には、ソフトボールやテニスをはじめ、さまざまなスポーツの活動場所に利用され、町民の健康増進・体力向上が図られました。

生涯スポーツ振興事業

[生涯学習室]

決算書 P196

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
739,000	384,010	0	0	0	0	384,010

[主な実施内容]

■第49回町民体育祭

幼児から高齢者まで全町民が参加できるスポーツの祭典として、町民の健康増進と町民相互の親睦を図ることを目的にしています。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止になりました。

■町民スポーツ大会

351,887円

宮代町体育協会へ委託し、町民の健康づくりと競技力の向上のため、各種スポーツ大会を実施しました。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、多くの大会が中止となりましたが、5種目を実施しました。

事業名	実施時期	会場	参加チーム 参加者数
野球の部	7～8月	総合運動公園野球場	17チーム
硬式テニスの部	9月	総合運動公園テニスコート	中止
ソフトテニスの部	開催なし	総合運動公園テニスコート	—
ソフトボールの部	9～10月	総合運動公園ソフトボール場他	15チーム

サッカーの部	12月	総合運動公園多目的広場	4チーム
剣道の部	6月	総合体育館メインアリーナ	69名
バレーボールの部	11月	総合体育館メインアリーナ	中止
卓球の部	11月	笠原小学校体育館	中止
弓道の部	1月	総合体育館弓道場	15名

■第39回宮代町綱引大会

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止になりました。

事業名	実施時期	会場	参加者数(チーム)
宮代町綱引大会	12月5日(日)	総合体育館メインアリーナ	中止

■少年少女スポーツ振興事業

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になりました。

事業名	実施時期	会場	参加者数
少年少女スポーツフェスティバル	6月20日(日)	総合体育館 メインアリーナほか	中止
ロードレース大会	2月12日(土)	総合運動公園	中止

■その他の事業

事業名	会場	目的・内容	参加者数
第23回ファミリーハイキング 10月～11月	秩父方面	ハイキングの楽しさや素晴らしい風景を味わい、家族のふれあいを深めます。	中止
第47回年少者スキー教室 1月9日(土)～10日(日)	日光湯元温泉 スキー場	小学校4～6年生を対象に、集団生活における協調性の養成とスキーの初歩的技術の習得を図ります。	中止
さいかつぼーる体験 5～2月(8月を除く)	総合体育館 メインアリーナ サブアリーナ	埼玉地区発祥のニュースポーツ「さいかつぼーる」の体験を通して、日頃の運動不足を解消し、スポーツに親しむ機会を提供します。(年間9回開催)	中止
あそびと運動(トライ) 5～6月(春季)	総合体育館 メインアリーナ	からだを動かすことの楽しさを知り、「動きのもと」を養う下地を作ることを目的に、小学校1～2年生を対象とした教室を実施します。(各季5回)	春季(全3回) 延べ35名

あそびと運動（チャレンジ） 5～2月	総合体育館 ほか	子どもの運動能力向上を目的に、小学校3～4年生を対象とした教室を実施します。（13回）	中止
-----------------------	-------------	---	----

※新型コロナウイルスの感染症の感染拡大防止のため、事業が中止。一部事業は規模を縮小して開催。

【成 果】

新型コロナウイルスの感染症の感染拡大防止のため、多くの事業が中止となりましたが、感染対策を実施した上で、あそびと運動（トライ）事業を開催し、児童へのからだを動かす楽しさを知ってもらう機会をつくることができました。

東京2020オリンピック聖火リレー事業

〔生涯学習室〕 決算書 P198

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4,803,000	4,532,372	0	0	0	0	4,532,372

【主な実施内容】

東京2020オリンピック聖火リレーは、令和3年3月25日に福島県をスタートし、121日間をかけて全国を巡りました。埼玉県では、7月6日（火）から7月8日（木）までの3日間、県内40市町で実施し、当町もその一つとして実施しました。

【成 果】

宮代町では、杉戸町と合同で実施し、2日目、7月7日（水）の第6区間（杉戸町・宮代町）として、杉戸町役場をスタートし、東武動物公園駅東口をゴールとする約1.3キロメートルを6人の聖火ランナーが聖火を繋ぎました。また、東京2020オリンピック聖火リレーを記念し、当日の様子を振り返り、6区間で走った聖火ランナーや聖火リレーで使用されたトーチやユニフォーム、関連アイテム等を紹介する記念展を開催しました。

文化財保護事業

〔生涯学習室〕 決算書 P190

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
889,000	799,061	0	0	0	414,500	384,561

【主な実施内容】

■文化財保護委員会の運営

154,300円

文化財の指定等を審議するため文化財保護委員会を開催し、町指定文化財候補の調査、審議等を実施しました。また、町指定無形民俗文化財の東条原獅子舞の指定解除について、教育委

員会に建議を行いました。

■調査

東部地区文化財担当者会による東部地区の古代（遺跡）及び信仰（神社）に関する調査を令和2年度に引き続いて実施しました。

■歴史講座の実施

10,000円

3月9日、さいたま民俗文化研究所主席研究員で日本民俗学会会員の板垣時夫氏を講師に、「埼玉東部の民俗 東部地区の祭礼行事2」を開催しました。前回は県東部地区の春・夏の祭礼行事についてでしたが、今回は秋から冬にかけての祭礼行事や民俗芸能を中心に、祭礼の意味や地域の特徴についてわかりやすく解説していただきました。受講者10人。

■文化財案内板等の設置

412,500円

宮代まちづくり基金を活用し、宝生院（字中地内）に、その歴史や由来を記した案内板を設置（ふるさと歩道の盤面交換）しました。また、資料館敷地内に百間2丁目「桜花碑（おうかひ）」を設置しました。

■指定文化財保存事業への補助

17,000円

指定文化財の保護、保存を目的に、埼玉県指定有形文化財五社神社本殿の管理者に防災設備保守点検費用の補助を行いました。

[成 果]

文化財案内板を設置することで合計42基となり、これまで設置したものと合わせて多くの方に地域の歴史、由来を周知できるようになりました。開催予定であった各種の講座は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止もしくは受講人数を減らしての開催となりました。

埋蔵文化財発掘調査事業

[生涯学習室]

決算書 P190

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
12,266,000	8,160,417	1,350,000	675,000	0	0	6,135,417

[主な実施内容]

■開発行為等に係る埋蔵文化財の照会

開発行為に係る事前の埋蔵文化財所在有無の確認として合計362件の照会がありました。

■文化財保護法の規定による発掘届の提出

文化財保護法第93条・94条の規定に係る発掘届が12件提出され、届出に対する指示を行いました。発掘届の内容及び指示事項については、以下のとおりです。

(1) 発掘届の原因

項目	件数
個人住宅	9
工場設備	1
分譲住宅	1
駐車場	1

(2) 指示事項

項目	件数
工事立会	1
慎重工事	11
本調査	0

■埋蔵文化財の所在の有無を確認する試掘調査

836,573 円

土地 10 件（合計約 69 m²）の試掘調査を実施しました。

調査の原因

項目	件数
個人住宅	8
分譲住宅	1
工場設備設置	1

■埋蔵文化財の遺物整理

発掘調査で出土した遺物の整理作業として、令和元年度地蔵院遺跡第 2 次調査、平成 26 年度地蔵院遺跡、平成 29 年度道仏遺跡、平成 29 年度・令和元年度姫宮神社遺跡等において報告書の刊行に向けて調査成果の執筆、トレース作業、仮図版作成、出土遺物の復元作業、図面作成作業を実施しました。

[成 果]

これまでに実施した発掘調査における調査報告書を刊行するための準備として、遺物や図面の整理作業を進めることができました。

埋蔵文化財発掘調査受託事業

[生涯学習室]

決算書 P190

3 年度予算 (円)	3 年度決算 (円)	3 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
12,338,298	9,149,694			0	9,149,694	0

※決算額 令和 2 年度繰越明許分

[主な実施内容]

■民間の開発行為に伴う埋蔵文化財の調査

道仏遺跡地内における文化財保護法第 9 3 条の規定に係る発掘届が 1 件提出され、文化財保護法第 9 9 条に基づく埋蔵文化財の発掘調査を実施しました。

対象遺跡 道仏遺跡

調査の原因 分譲住宅1件

調査結果 道仏遺跡地内において、約560㎡の発掘調査を実施しました。調査の結果、古墳時代中期から後期の住居跡36軒（内8軒は以前の調査で検出した住居の続き）、土坑が3基検出されました。主な出土遺物は古墳時代土師器、須恵器、韓式系軟質土器、石製品、土製品、玉類、炭化材、穿孔貝巢穴跡軟質泥岩等です。また、出土遺物の洗浄作業、図面・写真等の記録類整理作業、第2原図作成作業を実施しました。

[成 果]

今回の調査では、同遺跡での過去の調査に引き続き、古墳時代中期から後期にかけての、大規模な集落跡が確認できました。また現在のところ、埼玉県内では宮代町でのみ出土が確認されている韓式系軟質土器も、前回の調査に引き続き出土しました。

資料館管理運営事業

[生涯学習室]

決算書 P192

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
11,052,000	10,952,794	0	0	0	397,700	10,550,094

[主な実施内容]

■郷土資料館の利用状況

令和3年度は、278日開館しました。

3年度 A	増減 A-B	2年度度 B	元年
8,654	3,848	4,806人	10,844人

■資料寄贈等

町民をはじめとした方々から、民具や古文書等18件の寄贈等がありました。

文化財、市町村史等の図書について、新規に約260冊が市町村等からの交換文献として寄贈されました。

■展示 町の歴史、文化の紹介

270,502円

区分	内 容	期 間	入館者数
特別展 (前年度から)	資料館のあしもと 地蔵院遺跡展 ～考古学のいろは～	令和2年10月 ～令和3年5月	1,056人 (4～5月分)
特別展	俳諧結社 多少庵 ～史料に見る活動の広がり～	令和3年10月 ～12月	1,686人
企画展	空から見るみやしろ	令和3年5月 ～10月	3,772人

	おひなさま	令和4年1月～3月	1,419人
	古文書に見る人々の暮らし4 ～古典に親しむ～	令和4年3月～7月	721人 (3月分)

■各種講座・体験学習教室

94,421円

事業名	内 容	参加者数
夏休みとっておき体験 「郷土資料館へ行こう」	7月29日～8月12日（計8回） 対象：小中学生 内容：縄文ペンダントづくり、まが玉づくり、組みひもブレスレットづくり、和とじノートづくり	延べ 91人
かやぶき民家で 聞く昔話	8月7日 内容：旧加藤家住宅座敷において、宮代おはなしの会スウスのみなさんの協力により、昔話や島村蓼三（盛助）の作品「村の寶（たから）」を聞く会を開催した。	20人
西原自然の森 フェスタ 2021	12月4・5日 オカリナの夕べ（4日のみ） 内容：旧じゃぶじゃぶ池跡地と旧加藤家住宅を舞台に、オカリナ愛好グループの「こぶし10」による、オカリナの演奏会を開催した。 ナイトミュージアム（4・5日） 内容：竹あかりの点灯時間に合わせ、郷土資料館を18時まで開館した。	

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、下記の講座は中止となりました。

行 事 名	対 象
土器づくり教室	小・中学生
移築民家と「アトラシイ」ゲキ17	一 般
琵琶の調べ	一 般

■資料整理

48,064円

1. 町内から寄贈された古文書、民俗資料や歴史資料等の整理を実施しました。
2. 図書、古文書目録のデータ化、民具資料の整理、新聞資料の整理及び目録化等を実施しました。

■普及、啓発

学校教育との連携により、受け入れを実施しました。

1. 総合的な学習について、町内外の小中学校4校の受け入れをしました。
2. 博物館学芸員実習生2人を受け入れました。
3. 団体利用が2件ありました。
4. 職員派遣申請が2件あり、職員の派遣を実施しました。
5. 資料の館内利用が4件ありました。

■郷土資料館空調設備更新工事 1,560,900円
郷土資料館1階荷解室系統の空調設備更新工事を実施しました。

■西原自然の森敷地内施設案内板設置工事 693,000円
西原自然の森敷地内の施設案内のため、案内看板の設置を行いました。

■西原自然の森敷地内各種設備修繕工事 594,000円
西原自然の森敷地内において、外灯7灯のLEDランプへの交換修繕、点滅タイマーの交換修繕を行いました。

[成 果]

特別展は、前年度開催した「資料館のあしもと 地蔵院遺跡展～考古学のいろは～」を5月まで延長し、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために休館した期間分もご覧いただけるようにしました。

本年度の特別展は「俳諧結社 多少庵～史料に見る活動の広がり～」と題して、江戸時代後期から明治時代にかけて町域を中心に活動した俳諧結社多少庵について行いました。平成8年度にも多少庵についての特別展を実施しましたが、それ以降に確認された史料を中心に多少庵の活動範囲の広がりや活躍した俳人などについて紹介することができました。

企画展は、5月から10月にかけて「空から見るみやしろ」と題し、宮代町域を写した空中写真を展示しました。町が所有しているものだけでなく、国土地理院がインターネットで公開しているデータも活用したことから、昭和21年から令和2年にかけての変化が克明にわかるものとなりました。また、1月から3月にかけては例年同様「おひなさま」の展示を行いました。さらに、3月からは「古文書に見る人々の暮らし4 古典に親しむ」と題し、収蔵資料の中にある江戸時代の書物から、「古典」として身近な著作物を紹介しました。

西原自然の森の敷地内に「すてっぷ宮代（宮代町社会福祉協議会）」が開館したことを受け、敷地内の案内看板を設置し、外灯をLEDに交換するなど、西原自然の森内の整備を行うことができました。